

2. 輸送経路と成育場の環境影響評価

(3) 卵・仔魚の輸送経路と成育場の環境評価

卵・仔魚の輸送経路における物理・化学環境調査、成育場の餌料環境調査の結果を、仔魚の分布・数量や摂餌状態の時空間変化と対比し、仔魚の生き残りに対する環境影響の検証と評価を行う。



- ◆ 最終的には、仔魚の輸送シミュレーションとも連携しながら、環境影響を定量的に把握する。
- ◆ 最終年度(21年度)には、研究成果をとりまとめ、環境変化が仔魚の生き残りに及ぼす影響を総合的に評価する。また、それにもとづいて有明海の資源減少要因を検討し、資源回復のための沿岸海域環境の保全・管理方針を具体的に提案することをめざす。

研究スケジュール

		平成19年度	平成20年度	平成21年度
1. 卵・仔魚の輸送経路の解明	(1) 卵・仔魚の採集・分類・同定	卵・仔魚の採集、ソーティング、同定		
			仔魚の絶食・水平分布の把握	
	(2) 物理環境と流水の測定、卵・仔魚輸送経路の解明	物理環境と流水の連続観測		
		数値シミュレーション実験		
				稚魚の輸送経路を数値シミュレーションで検討
2. 輸送経路と成育場の環境影響評価	(1) 仔魚の採集と胃内容物分析	仔魚の採集、ソーティング、同定		
			胃内容物分析	
	(2) 仔魚の餌料環境調査	仔魚輸送経路と成育場の環境測定		
		プランクトンの採集と解析		
	(3) 卵・仔魚の輸送経路と成育場の環境評価			仔魚の生き残りに関する環境要因評価

有明海の資源減少要因検討

有明海の具体的な保全案の提案